

●六踏園創立 100 周年記念式典

日時：令和 7 年 5 月 17 日 土曜日 午前 10 時開始

●六踏園創立 100 周年記念事業として以下の取組を行います

- ①創立 100 周年記念式典を成功させる
- ②法人の起こりや歴史的背景を学ぶことでこれからの六踏園の役割を考える
- ③法人職員人材育成システムの確立
(キャリアパス、横割り研修、見学研修、交換研修、シンポジウムの開催等)

●実行委員会よりお知らせ

2024 年 12 月 20 日(金)に第 4 回実行委員会を行いました。

記念式典の招待者、プログラム、作成物等の確認をしました。

今後も法人職員の皆さんには進捗状況とともに各園の取組について通信を発行してお伝えしていきます。

みなさんで協力して法人 100 周年、そしてその先に向けて取り組んで行きましょう。

【調布農場と司法保護団体六踏園】

大正 14 年以前から調布農場は開かれていた。身体が病弱な信者さんの鍛錬の場、青年修養道場として開設されていた。それは、障害者福祉の一環であり、今日的な農福連携という画期的・先駆的取り組みと言える。読み書きのできない信者さんのための夜学部、身体が病弱な信者さんのための信者さんのための農場、これらは、今日の教育・福祉そのものである。

大正期後半、非行少年対策は、明治期の感化法(14歳未満で内務省管轄)と大正 11 年の少年法(14~18歳で司法省管轄)の二本立てとなる。関東大震災後、家を失い、親を亡くした子どもたちが巷にあふれた状況に心を痛めた中川庫吉は、調布農場への収容を決意する。明治後半以降、天理教に感化院設立の要請が様々にある中、大震災直後に愛国婦人会の副会長で信者でもある内務大臣の夫人から少年保護団体設立の話があり、大正 15 年、司法保護団体六踏園として認可がなされる。

開所式には、元内務大臣(今でいえば、副首相)をはじめ、政界や司法界の有力者が名を連ねている。期待されている司法保護団体六踏園事業の始まりである。

六踏園 理事 石井義久

六踏園創立 100 周年記念事業通信 No.4

令和 7 年 1 月 10 日発行

【100 周年テーマ】

つながり 感謝とえがお

【テーマに込めた思い】

1. 過去から現在そして未来に連なる

時間軸を縦軸にしたつながり

大正 14 年前後から戦前戦後の社会的混乱と東本大教会の激動期、東本大教会を維持するだけでも大変な状況のなか、創設者はじめ歴代の先人先輩職員の方々が社会福祉事業を維持されてきたことへの「感謝」、そして、過去も現在も大切に紡いできた子どもの「えがお」。

過去への「感謝」と「えがお」を忘れずに、現在そして未来へ、「感謝」と「えがお」をつないでいく。

2. 地域の方々とともに歩み・育てきた横軸のつながり

創設以来、土地の提供から施設の維持、そして物資や心情的な子ども達への支援に至るまで、地域の方々に温かく見守られ、支えられ、施設も子ども達も職員も地域の方と共に育まれてきたことへの「感謝」、そこに生まれるみんなの「えがお」。施設に暮らす子ども達の「えがお」だけでなく、地域の皆さんも「えがお」になれる施設や地域づくりを行ってきた。そして、子どもひとり一人の笑顔、地域の皆さんと共に笑顔で暮らせること、その毎日がつながっていくことを今後(未来に向けて)も目指していく。

未来に向けて「感謝」と「えがお」の糸を紡いでいきましょう！

法人100周年に向けた 皐月保育園 サブテーマ

～「自分の思いや願いを言葉で語れるように」共に育ち合う～

皐月保育園（保育所）



《理念》

- 天理教の感謝・慎み・助け合いの精神で日々の保育に携わる
 - 地域社会に密着した保育園
- <保育理念>
- 健康な身体と豊かな心を作る

《基本情報》

- ・児童数 134名
 - ・職員数 44名
- 施設長、主任、副主任、保育士、栄養士、調理員
看護師、事務員 他

《職員の一日》

7:00～	保育園開所 早番出勤 ローテーションで順次出勤
9:00～	リズム遊びスタート 保育（室内遊び・戸外遊び・散歩・行事等）
11:30～13:30	給食
13:30～15:00	書類・会議参加・掃除
15:00～	午後おやつ
16:00～	保育（室内遊び・戸外遊び）
17:00～18:00	合同保育
18:00～19:00	1時間延長保育
19:00～20:00	2時間延長保育

施設行事



《施設として大事にしていること》

保育園での生活体験を通して、健康で丈夫な体・豊かな感性・社会性を多くの大人や子ども達と関わりの中で獲得できる事を目指しています。
「相手の事も自分の事も大切」にでき「自分で考えて行動する」子ども像を目指し、一人ひとりを本当に大切にすることを保育の中で深めています。その保育実践を通して、友達と力を合わせて育ちあい、仲間を思いやる心、仲間と一緒に生きていく力を身につけていることを大切にしています。

《地域に向けた取り組み》

「一時保育」「園庭開放」「0歳児サークル」「妊婦講座」「卒園児ボランティア」「中学校職場体験」「高校生・大学生実習受け入れ」と実施しています。継続的に関り「地域のかかりつけ保育園」を目指しています。在園の子ども達と卒園児、地域の方々が集い、親睦できるように「さつきまつり」も再開しました。親子で一緒に友達との親睦も深めながら楽しみ、卒園生や地域の方たちとの交流を図る行事となっています。

【藤松睦子園長より】

誕生から就学までの乳幼児期を過ごす保育園。人間が生きていく力の基礎を作る大切な時期を過ごす場です。子ども達が友達と力を合わせて「対話」しながら育ちあう中で、仲間と一緒に生きていく力を身につけてほしいと願っています。また、職員同士も「対話的」に話をして、チームとして課題に向き合っていくことで、子どもも大人も「自分の思いや願いを言葉で語れるように」共に育ち合っていくことを目指しています。



《100周年を迎えるにあたって》

100周年という節目を迎えるにあたり、創立当初の思いである「社会の上にご奉仕したい」「子ども達を保護したい」という願いに改めて心を寄せたいと思います。その思いや願いをこの先も繋いでいくことが使命だと感じます。児童福祉施設として保育所が、多様な時代に異年齢児交流の場所として子ども達や保護者の皆様、職員の居場所になり、その中で共に育ち合いながらこれから先も進んでいきたいと思っています。

《趣味・息抜き》

- ・本を読むこと。（小説・専門詩・エッセイ・何でも読みます。漫画や絵本を読むのも好きです。）
- ・朝早く起きて1人コーヒーを飲みながら、アメリカのテレビドラマを観る事。この半年娘達の影響で韓国ドラマに夢中です。
- ・ディズニーリゾート

《小林 弘枝さん》(34年目)

仕事のおもしろさ:子ども達といると自然に遊び込むことで「こんなことが出来るようになって」「こんなこと言えるようになって」の成長が楽しくておもしろいです。

たいへんなこと:書類が多く、パソコン作業も加わって大変だなと感じる。

趣味・息抜き:好きなテレビドラマを見てポーンとすること。甘いものを食べてホッとすること。



《笛木 美代子さん》(16年目)

仕事のおもしろさ:子どもの成長と発想

たいへんなこと:除去食の対応・衛生管理

趣味・息抜き:和太鼓・旅行・韓国ドラマを見ること。

職員紹介

《益山 恵美さん》(9年目)

仕事のおもしろさ:子どもとの信頼関係が築けた瞬間の喜び！そして子どもの笑顔を見ることが出来る所。疲れが飛ぶくらいの力を持っています。
たいへんなこと:体力が必要な所。保育計画の通りに活動が進まない時や、子どもとの関わりの中で臨機応変に柔軟な考えで対応しないとイケない時。

趣味・息抜き:高木雄也君のファンになり18年。ずっと大好きです。同じくらいディズニーも大好きで多い時は月4ペースです。夢の国に癒されています。

